

18
ADULT
ONLY

乳猫線
行列の
のびる



ス
キ
ン



予想外の罫や魔物に出くわして水や食料はおろか剣まで失ってしまった時の話だ



あれはあたしが一人で迷宮の探索をしていた頃



なんとか出られたか



ああ……



こんな辺境の迷宮…… そうそう他の冒険者が通りがかかるはずもない



大丈夫
お姉さん？



何か：食い物を
持っていないか？

え、お腹減っ
てんの？

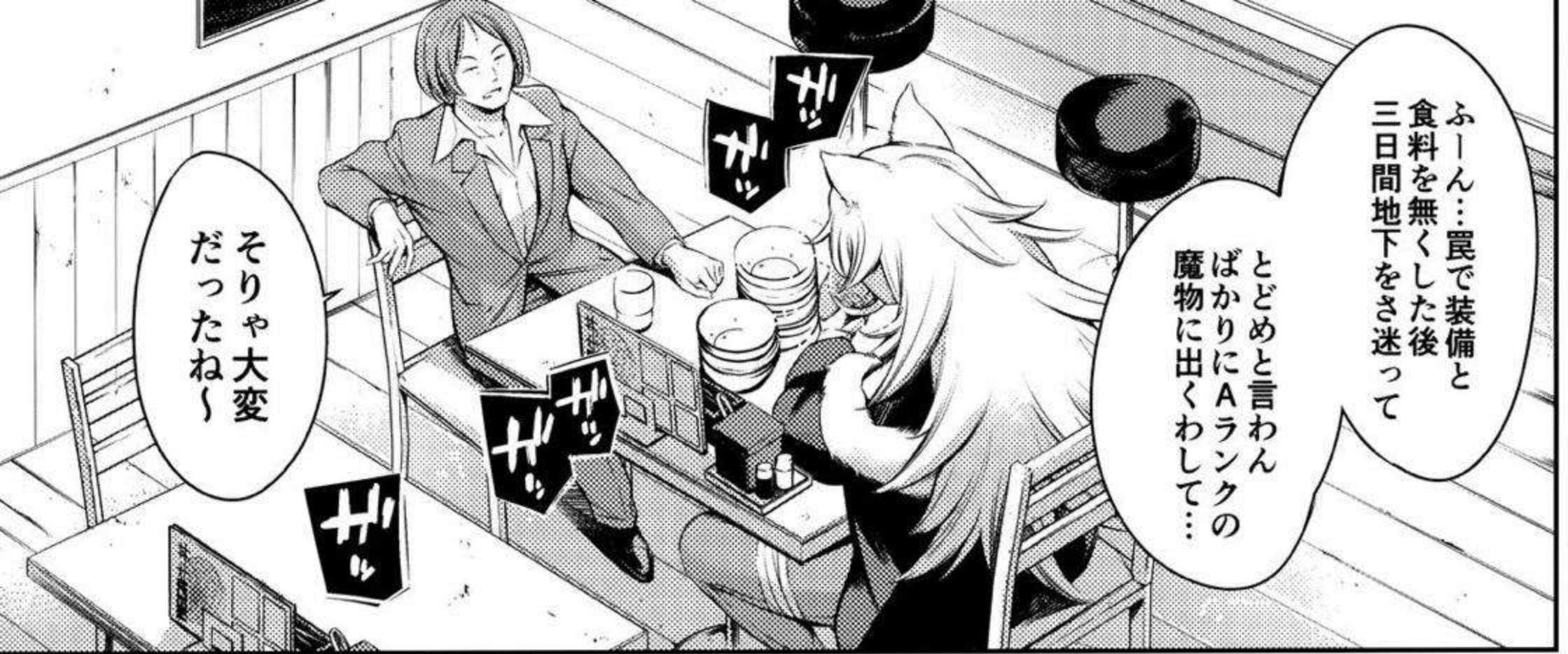


うんうん



じゃあそこの
牛井屋まで
歩ける？

牛井…？



ふーん：罨で装備と
食料を無くした後
三日間地下をさ迷って

とどめと言わん
ばかりにAランクの
魔物に出くわして…

そりや大変
だったね〜



で、この後
どうするの？
お姉さん

お待
ち
な
さ
い

そうだな



同じものを
もう一杯くれ

そちらの券売機で
食券をお求め
ください

あ〜
ハイハイッ！



とにかくはまず
剣を手に入れ
なくてはな

剣ねえ…



でも住む所
なんかは？

しばらくは
野宿だ

メシ食う金も
無いんでしょ？

狩りで
なんとかする

仕事

あるには
あるんだけど
さあ…



凄いコ連れて
きたねキミ



こらあまた…



ドルデイ…って
どこの国？

南米じゃ
ないッスか？

たぶん
この国かな。



お名前は？

ごご出身は…

「大森林」の
ドルディア族だ

ギレーヌ



まさかと思ったが
やはりここは
「娼館」か



ああ
なるほど

まあウチとしては
未成年でさえなければ
多少の融通は…ネ
とりあえず
がんばってみて
ください

まあ…この際
仕方あるまい

右も左もわからぬ国で
しかも剣を持ち歩く事が
御法度とくれば

あーでも 入手しても
剣は無理 持ち歩けないし

なっ…
どんな国だ
ここは!!

あたしに出来る事は
おのずと限られて
くるからな

…剣の
いらん国か

世界は
広いな

今日これから
五人目の客だ

あっ
ギレーヌさん?
オレオレ

どう調子は?

「さん」はいらん
ギレーヌでいい

用がないなら
切るぞ

五人って…
タフだなあ

路銀を稼ぐために
体を売ったというのは
この際置いておくと
してだ

あたしの知る娼館とは
ずいぶんと勝手の違う
店でな

まあ…
なんと…
いうか

とにかく
奇妙な
店だったな

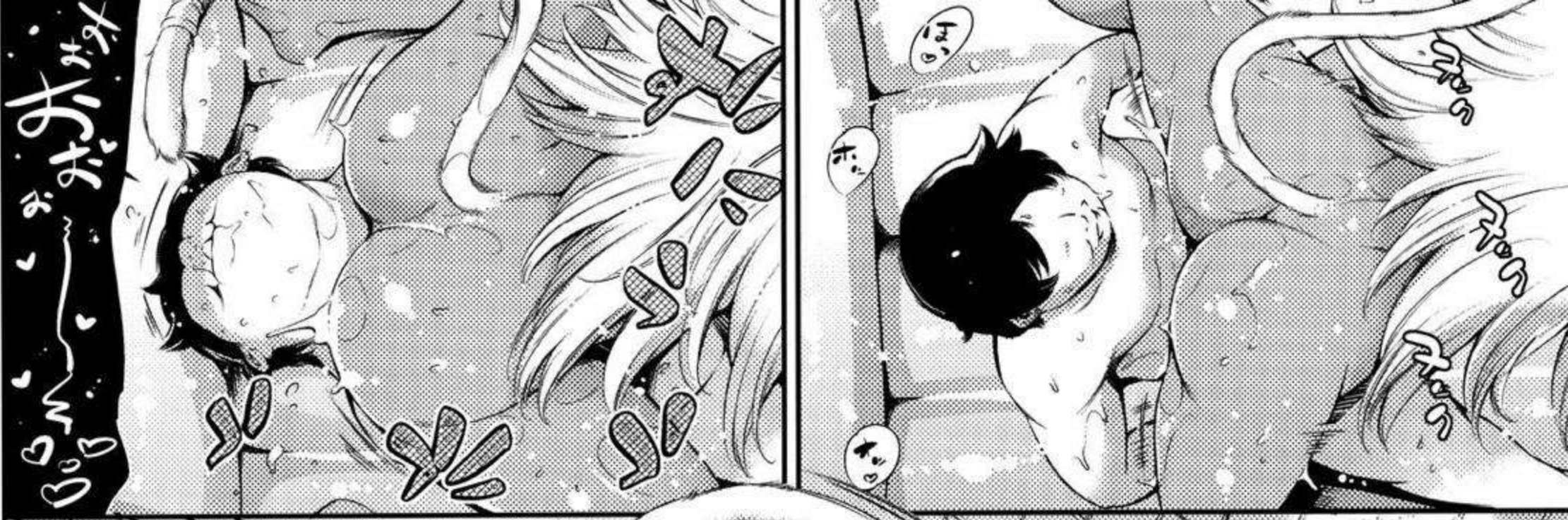


その…もったいたいぶった
「まぐわい」をしたがる
連中が言う「前戯」と
いうやつ



お決まりの接吻や
愛撫ならあたしにも
わかるがそこから先が
珍妙でな





たわけた話だが
体中に薄めた粘液を
塗りたくり乳や女陰を客の
体に擦りつけるんだ

たしか…
「まっとおれい」
とか呼んでいたか





酒の酌をし股ぐらを
開いていれば後は
男が勝手に済みますと
思っていたからな



正直：あたしは
それまで娼婦という
仕事を少し甘く見て
いたかもしれん



しかしこれが見た目
滑稽なわりにはえらく
繊細な技術：いや

独特の「間合い」を
必要としてな



「松葉崩し」に
「金のシヤチホコ」
それと…すまん
忘れた

わっ!?

わかった
気をつけよう



あ、あの〜もう
ちよっと優しく
扱ってもらえると…

そうか？

とにかくあたしの一生で
あれほど多くの「技」を
会得したのは剣の修行を
していた時以来だ



まあ今のを師匠が
聞いたらさぞ嫌な
顔をするだろうがな



優しくか：
研修とやらでも
言われたな

ナニに牙を立てた
くらいでヒイヒイ
泣くことも
なかるうに

くた... 水

びしょびしょ...

とはいえ...
やる事は
やるわけでな

そういう意味では
間違いなく「娼館」
だったわけだが



...「ちゃん」?

ねえあの
えーつと...
お姉さん
ギレーヌ
ちゃん?



ほほらっ
「アナル・
ファック」

「AF」...どうなっ
てたのかな?

えーえふ?

オプシヨんで
お願いしたん
だけとお...オ?



いや尻だな
構わんぞ



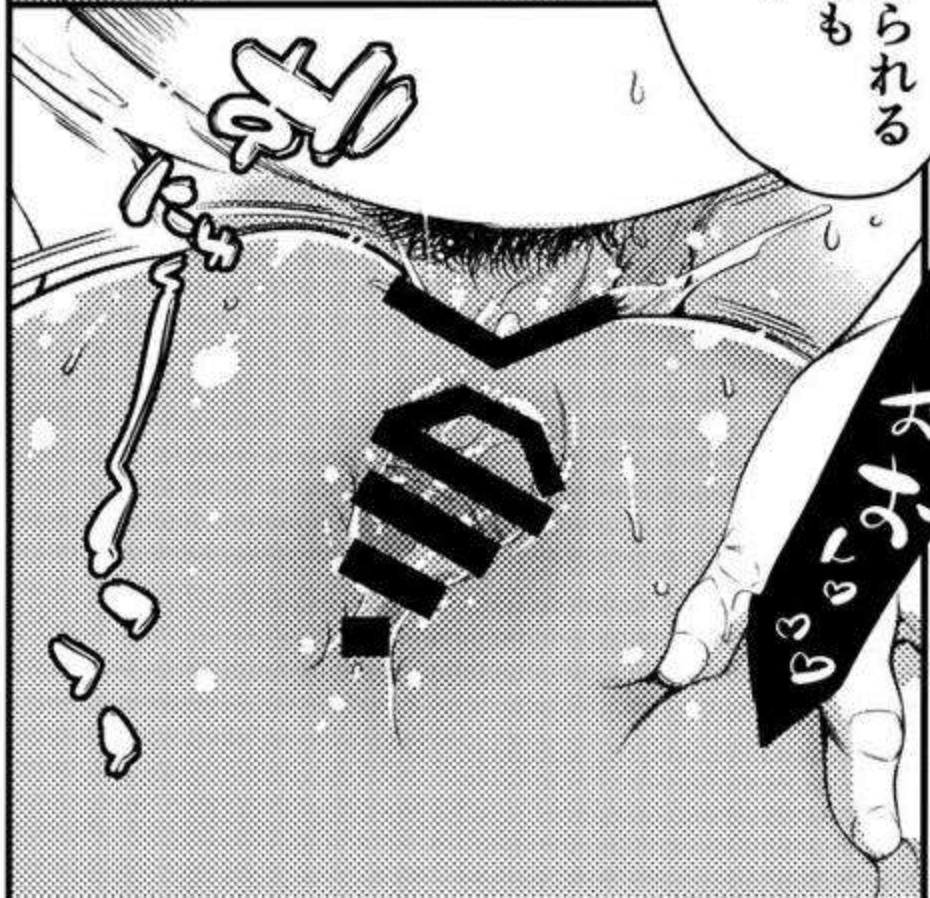
あっあれ...
もしかして話が
通ってない?

「あなる」...ああ
確か使用人が
何か言っていたな

パウロのヤツも
やたら尻穴に
ご執心だったが
男という奴は:



尻穴を執拗にねぶられる
というのなんとも
言えん感覚だな…





まったく…
交尾をしながら
ゴチャゴチャ
うるさい奴だ



生アナルッ
褐色猫耳ちゃんの
生ハメアナルッ♡♡♡

オッ…ホッ…オ
スゴオ…ツツ…
オッ!



尻なんぞでまぐわいたがる連中の気が知れなかったがこれは確かに...

しかし...



まったくこのあたしが三食たらふく喰って挙句の果ては尻穴でナニをシゴく娼婦とは...

いやたらふく喰うのは別に悪くないとしても...ウツ





グッ...

グッ...

ジッ...



まあ 悪くはない

アナル ファックか...

チッ

プッ





にわかには
信じられんかも
しれんが

まさにその客の
言う通りに
なってるな

冗談のような話だが
男どもがあたしを
抱くために連日店に
列をつくっていたんだ





それこそ飯を食う
暇も無いほど朝から
晩まで男どもと
まぐわったな



ああ
わかった

ギレーヌさん
ご予約のお客様
いらっしゃい
ました

そうか：
こんな事も
あったな



晩飯はどう
するかな…



一生分の発情期を
合わせてもお釣りの
来るぐらいナニを
啜えたもんだ





ルーデウス？



ずいぶん調べたんだが
未だにあれが何処の
国かさえわからん

お前なら
何かしら知って
いると思っとな



どこからツッコミを
入れるべきか非常に
悩むところですが…

ウン？

と、とりあえず
ですね



ソープのくだりを
もっどKWSK!!

ばん

なんの話!?

子供は聞いちゃ
いけません!!

ぬま
か
は

そ、そうですが
エリスこれは…

なによ！自分だって
子供じゃない！！



無邪気に戯れる
子供たちを
眺めつつ

「ギガ盛り汁ダク
バッファロー井」の味を
心と舌で反芻する
ギレーヌであった



発行日：2022年8月14日 発行元：マクロ☆フィクション
著者：まぐろ帝國 印刷所：PICO(プリンティングイン株式会社)
連絡先：tunateisyoku7360@gmail.com
<http://www.pixiv.net/member.php?id=12752460>
注意事項：禁十八歳未満 禁無断転載



TunaEmpire Presents

マグロ☆フィクション

MAGURO☆FICTION